

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 9 月 21 日 (2006.9.21)

【公表番号】特表 2005-509586 (P2005-509586A)
 【公表日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-015
 【出願番号】特願 2003-545597 (P2003-545597)
 【国際特許分類】

C 0 4 B 35/80 (2006.01)

C 0 4 B 35/84 (2006.01)

【F I】

C 0 4 B 35/80 G

C 0 4 B 35/84

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

熱衝撃に起因するクラックを生じない繰り返し利用で 2 , 2 0 0 F (1 2 0 4 . 4)
 を超える温度に耐えることができるセラミック混成材料で、該セラミック混成材料は焼結
 段階を用いて作られ、該セラミック混成材料は強化繊維の網と、アルミナゾルから形成さ
 れるマトリックスを含み、該マトリックスは焼結段階前において網に含浸され、焼結段階
 後にはマトリックスが網に確実に固定されているセラミック混成材料。

【請求項 2】

請求項 1 のセラミック混成材料で、前記マトリックスがさらに少なくとも一つの希土類
 酸化物を含み、含浸ゾル中に少なくとも一つの希土類酸化物を含有することで作り、希土
 類酸化物がアルミナゾル中にアルミナの量に対し重量比 6 0 % まで含むセラミック混成材
 料。

【請求項 3】

請求項 1 のセラミック混成材料で、網が強化繊維の三次元直交織りから成るセラミック
 混成材料。

【請求項 4】

請求項 1 のセラミック混成材料で、網が、焼結段階以前において遷移相アルミナを含む
 セラミック混成材料。

【請求項 5】

請求項 4 のセラミック混成材料で、アルミナの遷移相が -アルミナであるセラミック
 混成材料。

【請求項 6】

請求項 1 のセラミック混成材料で、焼結段階の後に、1 0 から 4 0 重量パーセントの強
 化繊維の網を含むセラミック混成材料。

【請求項 7】

請求項 1 のセラミック混成材料で、混成材料が第 1 及び第 2 金属及び遷移金属酸化物を
 含まないセラミック混成材料。

【請求項 8】

請求項 1 のセラミック混成材料で、網に含浸される間に、強化繊維がゾルによって部分的に吸収されるセラミック混成材料。

【請求項 9】

請求項 8 のセラミック混成材料で、部分的吸収と焼結段階によって、網繊維にマイクロクラックが生じるセラミック混成材料。

【請求項 10】

耐熱レンガで、

熱衝撃に起因するクラックを生じない繰り返し利用で 2,200 F (1204 . 4) を超える温度に耐えることができるセラミック混成材料を含み、セラミック混成材料が、強化繊維と網に強固に固着するアルミナマトリックスを含む耐熱レンガ。

【請求項 11】

燃料電池の断熱材で、

熱衝撃に起因するクラックを生じない繰り返し利用で 2,200 F (1204 . 4) を超える温度に耐えることができるセラミック混成材料を含み、セラミック混成材料が、強化繊維の網に強固に固着するアルミナマトリックスを含み、且つ、セラミック混成材料が、第 1 及び第 2 金属及び遷移金属酸化物を含まない燃料電池の断熱材。